

★ NOTE BOOK ★



昭和十九年十二月三日
自

NO. 1053

西川幸江

十一月二日(木)

昨日の夜警戒戒厳令が発令されました。皆の寝つきが、十時頃だつたさうです。線路の近くの半鐘が、カンカンとなつたのを私は夢うつつ覺えて居ります。朝になつてからはつきりと知りました。防空頭布・救急袋を肩に掛けて學園にむかひました。

二時間めの始めに、解除されました。あゝ有難いよかつた。

五時間めに薩摩薯の葉柄ヒリをしました。もう大分なれたので、すつと早くできるやうになりました。みそもらくにむけるやうになりました。

ました。その後、日記を書いたり、ろんなことをいたりしました。日がかげつて冷い風が吹いてきました。雨でも降るのかしら。



十一月五日

今日は三五年の面會日です。面會が始つて、
しばらくたつてから敬言式敬言報が発令されま
した。椅子をやつと防空壕へ入れたところ、空龍が
敬言報が発令されました。ので、大急ぎで待避
した。面會にいらしたお母さん方も二人お入
りになりました。敵機も来襲しなうち
に、正午一寸前解除されました。お晝御飯が
すんでから、三雲さんと堀さんと高瀬さんが
防空服を取りに行つて下さいました。
敬言式敬言報も解除になりました。
おやつに甘酒が出ました。
私はさほど好きではあり
ませんが、飯ん
だらおいしかったです。相
馬さんが、家からあつらへ
ものと言つて、毛糸を
持つて来て下さった
ので、ヤッソク手袋
をあみかけました。
うまくあめろ
く



甘酒

十一月六日

朝會後、分廠へ新をもらひに行かうと門の邊
まで行くとき敬言式敬言報が発令されたので、
つかえて、大急ぎで防空壕へ椅子を入れました。
午前中は外で、早くに坐つて授業をしまし
た。お晝御飯の時解除になつたので、午後
からは分廠へ行つて薪をいただいて来まし
た。お晝御飯にカレーが出ました。からく
大へんおいしかったです。
分廠から歸つて来たら、おやつ
が出ました。ピーナッツの入
つた平たいパンでした。
甘からくとても
く。おいしかったです。
した。その後
あみ物をし
たりして遊び
ました。一目ゴ
あみ物がニヤン
位あめがまし
までに二回り解
きた。



十一月七日

午前中はいつもの通り授業がありました。
 裁縫の時間に警戒戒厳令が發令されました。
 頭布を肩に掛けて用意して一寸と、空襲
 警報が發令されたので、大急ぎに椅子をか
 かへて待避壕へ
 とびこみました。
 そして静かに待壁
 してをりました。
 炊飯隊の小父さん
 が入って来ました。
 今、東京上空へ一機
 敵機が現れて、高
 射砲でさがんに打
 つたそうです。
 爆弾を一つも落
 さず、寫眞を寫して
 逃げて行つてしまつた
 そうです。
 晝食は、いちめ
 んで、おやつには、紅茶が
 出ました。
 とてもおいしかったです。



十一月八日

今日は大詔奉戴日です。九時から、奉讀式があ
 りました。今日はとても寒かったです。三時間めの
 國語は、孝查でした。の、みといふ字がわから
 んで困りました。午後、作業、石炭がら
 運ぶのをしました。まづ右側の列、私たちが石
 田先生につれられて、療養所へ、た、だきに、行
 きました。行き道、私と白井さんと石原さん
 が荷車に乗って行きました。二度めの人が
 前の道に、私達を、お
 行きました。私達は、女
 校の校舎で、石田先生のお
 話を、おき、しました。
 こわい、と、恐い、お
 話を、した。持つて、来
 た、石炭がらは、學園
 までの、道に、敷きま
 した。自分で、作った、道
 歩いて、みまし
 たら、



時間めは十一月九日

不自由を常と思へば
懸命書いたつもりです
か上手に書けた

夕方山口先生から
おさとしがあり
まーた人をむやみに
いじめたりしないで

人の悪口を言はな
いことです。私は
取っ

まーた山口先生から
おさとしがあり
まーた人をむやみに
いじめたりしないで

人の悪口を言はな
いことです。私は
取っ

まーた山口先生から
おさとしがあり
まーた人をむやみに
いじめたりしないで

人の悪口を言はな
いことです。私は
取っ

まーた山口先生から
おさとしがあり
まーた人をむやみに
いじめたりしないで

人の悪口を言はな
いことです。私は
取っ

まーた山口先生から
おさとしがあり
まーた人をむやみに
いじめたりしないで

人の悪口を言はな
いことです。私は
取っ



十一月十日

体操の時、岩丸先生の後をついて、林の中へ行き
まーたかけ足です。ききの原をわけて追いま

午後お芋掘りをしました。丸のが多
い。途中から一部六年はお芋洗ひをしま

た。その後掘さんと西村さんがお芋をお
りになりました。私も後から切りま

と氣持よく切れます。そのお芋は
おやつに出ました。きんときみた

おなのの後はみんな
でなわとびをしま

今日一日中は昨
日の先生のおさとし

自分を守れたと
思ひます。

やれはできる
やれはかならずで

やれはできる
やれはかならずで

やれはできる
やれはかならずで

やれはできる
やれはかならずで

やれはできる
やれはかならずで



あやめるひすよ

十一月十一日

朝富士山が
真白く大へん
美しく見え
まい。真白
く美しいとい
つてもいいも
少し違つてお
ま
す。雲り空ぬ
み色の空を北
景に少し見え
なやうに美し
見えたりです
午後石田
先生と菅村先
生に連れられ
お菓子とお塩
と。お菓子は
ビスケットで
す。おやつに
卵形のが出ま
した。甘くて
大へんおいし
い。今日一日
よく暮せたと
思ひます。い
つまでも三日
坊主にならぬ
やうにこのい
ふ事をにつづ
けやうと思ひ
ます。



十一月十二日

今日は私達の面會日です。朝會の後かけ足
をして歸つて来た。門の所に母がおられ
ました。今日はバギーがいた。だからゆつ
とでまわりました。荷物の整理がすんだ。こ
ろ室
内へ入りました。東京からくらべて寒さ
です。

おやつにさつま芋が
出ました。自分達の
の働いて作ったお
芋だと思ふと大へん
おいしく感じました。
一電車がこむのでと
おつやつて、母は少し
早めに歸られまし
た。よかつた。警報
も出ないで、ゆつ
くり面會できて
今日はわが荷物か
少ないです。少しゆ
る
手袋も片方あめま
した。少しいゆる
かつたので、手首の
ところにゴムをい
れて
下さるさうです。



十一月十三日

午前中は小平分遣へ薪拾ひに行きました。
 重いでした。がくぼつてやりました。その後
 お晝御飯まで、昨日きた可愛う山羊と
 遊びました。メエーとあまえる声で泣いてあ
 ました。
 午後私達はお風呂をきこしました。その
 後で便所掃除をしました。始めのうちだけ
 森先生がいらつしやいました。が後は私たち
 だけ。でやりました。それがすんでから、
 髪を洗ひました。ジャブシ
 した。お風呂は
 今日、お天気で
 す。い。お天気が
 なの。入つてし
 まひました。夜
 御飯はするん
 てした。今日も
 よく暮せたと自
 分で思ひます



十一月十四日

午前中は、残留部隊と攻防戦をしました。
 私たちは水道の所に陣をきき、そこでたた
 かひました。けつきよくあひひでした。
 午後からお芋掘りをしました。平松さん
 と前野さん。とで一行をしました。大さの
 も出ました。あくがとれなくて困りました
 は、その後おやつを組々にわけました。おやつ
 は、お芋とパンです。お芋は甘くパンは一寸か
 らくとてもおいしかったです。
 今日一日染く
 仲よく暮せたと
 思ひました。
 今日で六日め
 ですが、今まで
 出きたので、
 すから、これ
 から、この
 やうにく
 らいませう。



十一月十五日

朝島一面に霜がおりておりました。手先が大
人冷いでいた。午前中は小平分岐へ薪運
びをしました。重くて肩にめりこみさうで
ががんばつてよつて来ました。
午後からは療養所へ体重測定に行きま
した。二九・五斤で一六斤ふえました。ずる
んふえたうれしいな。その後ア・ウ・エ・オの
後の人はふとんを取りこみに村野さんの
お家へ行きました。人数が少なかつたので
大へんでした。

おやつにさつま芋が出
ました。今日のは栗のやう
な味がして大へ
んおいしゅうでし
た。

今日もばいたたい
よく暮せたと思ひ
ます。一寸悪いこと
を言つたと思ひま
した。がすぐ気がつ
いてさつやくやめま
した。



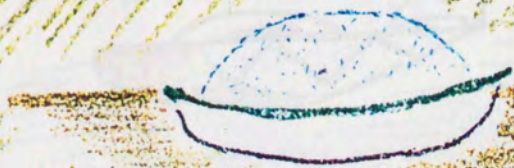
十一月十六日

朝から雨がよぼしよぼと降つておりました。
ので室内で暮しました。音楽は福田先生
がいらつてやらないので、自習をしました。四時
間めはお風呂でした。私のかぜはもうすくな
く、又さうな
にするといけ
な
と思つて、今日
はそれに雨が降
つてゐるからこ
とに入らないこ
とにしました。

夜御飯はす
ねとんでした。
四はおかわり
できまりました。

三はいにしました。今日の一日もよく暮せたと思ひます。一寸皮肉をいひかけさうになりま
した。がすぐやめました。いつでも悪いことを一
つでもしたら、昨日や今日みたいに正直に書き
出さうと思ひます。さつやく自分のことはさびしく
反省し徹底的に直すのです。人に対しては寛大
にゆるしてあげられる。広い気持の人になつて下さい。





十一月十九日

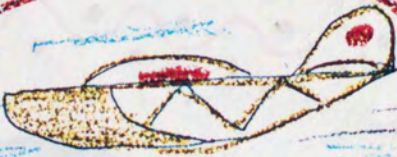
午後一時から演藝大会がありました。
母も見に来られました。
私たち位の子供の無難踊みの
りの秋といふ劇。百面相な
どはともくく面しるい
でした。百面相はいろいろ
ろな衣やうをいって、いろ
んな物に見えるやうに
するのです。彌次喜多の
真似。その外、ろんな物
の真似をして見せてく
れました。皆とてもよく
似ておました。
痕御飯のり巻五つ。貝
柱のおすし一つ出ました。お
かづには、人參と午ぼうと里
芋の煮たのが出ました。一寸
からくおいていました。今日
は、少しお歸りがおそくなつてし
まいました。十五分で荷物の整理をして、十
分遊んですぐやすみました。

お寿司の米純



十一月二十日

午前中は授業でした。体操の時間は配
球の練習しました。始めのうちはちつとも
きませんでした。大分よくできるやうになりま
した。エ作は、グライダーを作りしました。井元
さんと二人で一機です。エ
手に作つてよく飛ぶ
やうにしました。せう、ひ
ごを折つたらかは
りはない。ちつとも
折らないやうにが
んばらう。
おやつは、さつま芋
が出ました。この
畠で出きたのかな。
今日もよく暮せた
と思ひました。一寸
或人をにくらしく思ひ
ました。口には出せません。にくら
しくうらめしく思つても自分の心だけにして
人にはいはいやうにしようと思ひます。
明日は私の誕生日
どくなるので、さういふ気になつたか、おもしろい



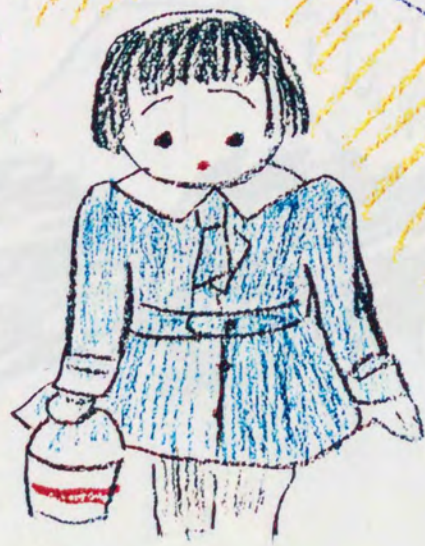
ヨクトブ

ヨウニ

十一月二十一日

今日は私の誕生日です。私は今日から満二歳になりました。三時間めの終項雨が降って来たので、昼食は中ずませました。お芋掘をしました。大きなものも出ました。堀り残しがないやうに一つかりやりました。今日は私の食事当番でした。がので少し急ぎめに御飯をすませるはづなのてすが、ついおしやべりを忘れてしまつてゆうとすまつて水も汲まなうつたので、今度からはおしやべりをしなうで食べべて、食器洗ひの水は必ず汲まうと思ひました。

水ハ必ず汲マウ



十一月二十二日

今日は、青少年学徒に賜りたる勅語記念日なので、心勝祈願の行軍をしました。いつもなら明治神宮に行くはづです。今日は残留組の代表で行つてくれただので、私達は東村山の神社を三箇所お参りして行軍を終ることにしました。先づ八坂神社を参拜して、その次には、化成國民学校の横の神社を参拜。この國民學校で休けいしました。その次、どこかしらな神社を参拜しました。昼食は、陝山丘陵です。参りました。



こはとてよく見はらしのよ所です。前にずしつと貯水池の土手が見えて、その向かうにはちち父連山が續いておりました。右前の方には富士山がそびえておりました。陸の下は、がけになつておてその下に多摩川が流れておりました。その向かうがはが又がけになつておて、そこが貯水池の土手です。前頁の繪は貯水池の土手で左の繪は富士山の繪です。峡山丘陵は海抜一三〇米な景色を、東京のお母さんにみせたいと思ひました。おやつには、棒みるゝいな。干菓子が出来ました。夕飯には、お芋の天ぷらが出来ました。

反省昨夜 西村

さんや古川さん
があまりさわつた
ので、思はず腹か
なつて、甘皮肉も
つてしまつた。これなりよう



十一月二十三日(新嘗祭) 今日はお米を。今日は新嘗祭です。今年とれた新しいお米を。天皇陛下のおめーあがな日です。今日は三五年の面會日です。午前中は、あみ物をしな日。日記を書いたりして暮しました。お晝御飯は、今年とれた、新しいお米の白米でした。その後、お芋洗いをしてしました。今日の、おやつのお芋です。お芋切りは、屈さんと齊藤先生がなさいました。今日の、お芋は、いつもよりも大きかったです。今日は、一日大へんよいお天気で、今日は山口先生がいいた。今日は、山口先生がいいた。今日も、さういふやうに暮したと考へました。



今日一日は大へんよく暮せたと思ひます。これから、さういふやうに暮したと考へました。

(反省) 敗

正午頃、警報が發令され、一寸もつてから、すぐ空襲警報が發令になつたので、急いで防空壕へとびこみ、まゐつた。敵機は帝都上空に現れました。この真上にも來た。籠り、解除されたので、落ちません。直ちに昼食をとりました。まだ一機だけ、帝都上空にうろついています。今、日來襲したものは、ボーイングで、29、だき、うへへ歸つて、から、解除、され、ました。夕食は、お芋の代、を、い、いた、ひ、が、い、も、な、かつ、た、や、う、で、



さねました。夕食はお芋の代
用食でした。あ、よかった、
よかった、やうで、

十一月二十五日

午前中は授業でした。三時間めの綴方の時間に
警告戒告報が発令された。八丈島に敵機が



デニコッ
 ヤ大ヘンニ
 ニ
 フタレ
 ケロニケ
 ン

來寵衣し、北方へ向
かつて進んでる
のださうで

たあとを掘りかへしなり、澤山お寺がころがり出
て来まゝな。

反省 今日も大へんよく暮せたと思ひます

す。一寸の間、壕の中へ入つておまゐた。が、出て晝食をすまふ。しばらくくすると、解除された。午後

十一月二十六日

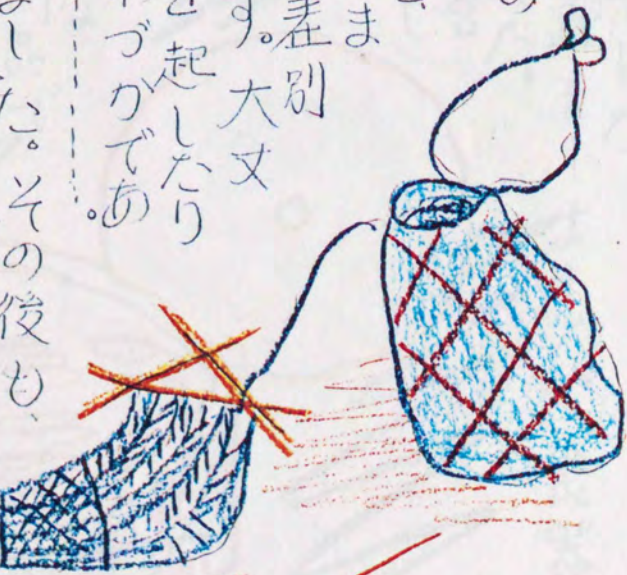
今日は嬉しい。面會日です。朝から大へんよいお天気でした。母は朝會が終つて少しいてから来り。物さしまひまし。母やけがとてむむど。今年もむむどな。な。いからわ。とい。ろく。持つて来て。で。き。ま。す。と。い。う。ま。し。た。が。い。う。で。し。よ。も。し。な。つ。た。る。か。ら。い。は。れ。た。の。で。荷。物。が。多。く。大。へ。ん。で。す。が。受。け。と。り。ま。し。た。報。が。来。た。の。後。敬。言。式。敬。言。今。さ。れ。た。の。が。す。ぐ。歸。ら。解。除。に。な。り。空。龍。衣。に。も。な。ら。づ。に。大。へ。ん。幸。せ。だ。と。思。ひ。ま。す。



今日もよく暮せましたと思ひます

十一月二十七日

何だか朝から雨が降りさうでした。あんの。じ。よ。う。二。時。間。め。頃。か。ら。ぱ。ら。ぱ。ら。降。つ。て。来。ま。し。た。お。晝。一。御。飯。が。や。つ。と。す。ん。だ。頃。敬。言。式。敬。言。報。が。来。た。の。後。敬。言。式。敬。言。今。さ。れ。た。の。が。す。ぐ。歸。ら。解。除。に。な。り。空。龍。衣。に。も。な。ら。づ。に。大。へ。ん。幸。せ。だ。と。思。ひ。ま。す。



空龍衣が発令されま。東京を無差別。撃。つ。た。と。い。う。で。す。大。丈。夫。か。し。ら。大。火。災。を。起。し。た。り。い。な。い。で。損。害。が。わ。づ。か。で。あ。い。は。れ。た。の。後。三。時。頃。解。除。さ。れ。ま。し。た。の。後。も。靴。下。を。あ。み。ま。し。た。か。つ。と。が。で。き。て。や。つ。と。あ。み。け。り。る。と。こ。ろ。ま。で。出。き。ま。し。た。お。晝。一。御。飯。が。や。つ。と。す。ん。だ。頃。敬。言。式。敬。言。報。が。来。た。の。後。敬。言。式。敬。言。今。さ。れ。た。の。が。す。ぐ。歸。ら。解。除。に。な。り。空。龍。衣。に。も。な。ら。づ。に。大。へ。ん。幸。せ。だ。と。思。ひ。ま。す。

十一月二十八日

第一時限に菜っぱ洗ひをいたしました。いろいろなお菜お鉢がありました。みんななまき水に洗ひました。朝御飯はお魚のお煮つけが出ました。大へんおいしかったです。書飯はお芋が一しよにたきこんであります。

午後のお裁縫の時間は布をぬちまました。作業

前掛け早く出きると

食事堂當番にな

つた時にや、は、それを

かけて御飯やお味噌汁

をつける時につかひませう。

髪洗ひをいたしました。しらみがわかたないやうにきらいに洗ひました。

今日は警報もでないでよかったな。来たって平氣。

反省
今日もよく暮せました。この頃はだいぶ



十一月二十九日

今日は開校記念日です。明治八年以來了度今日まで七十年です。今日は七十周年です。お書御飯は白米でした。眞白のお米は大へんおいしかったです。さけのかんづめもできました。とて

四時聞めにはお洗濯をいたしました。食器袋とズロースを洗ひました。

作業の時間は校舎

のまわりを掃きまし

た。林の中で箆

をとつて来てほ

うきを作りまし

た。少し重いでし

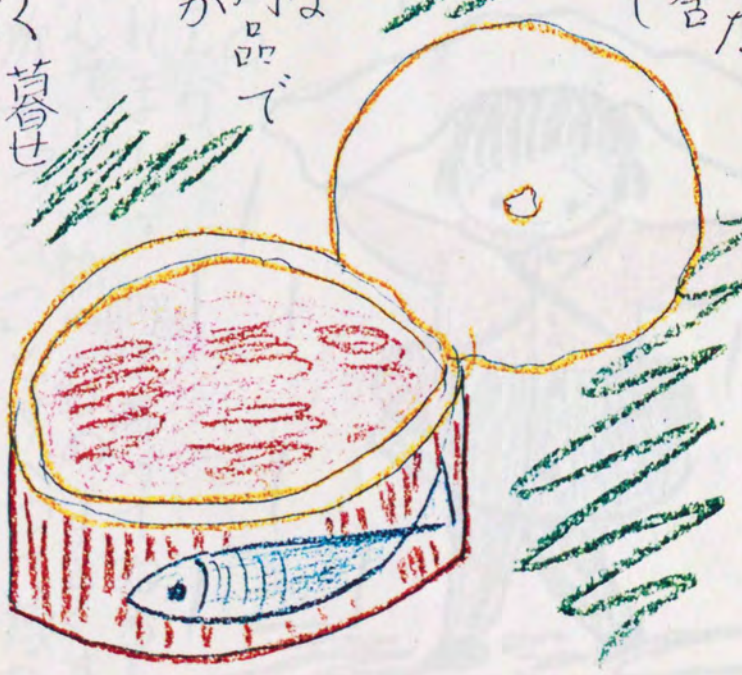
たが掃きよいほう

きです。すてきな

はうきだ。代用品で

も立ぱりに役目が

はなせます



反省
この頃は、大へんよく暮せ

るやうになりました。いつまでもこのように

満月



十一月三十日

昨夜の十一時半頃、警報が發令されたの
で、みなはおきこめて、着がへをして、一寸たつてか
ら、空襲警報が發令された。急いで、毛
布を持って列をなして防空壕へむかひました。
川の向かうにあるので

その川にかつて
る橋を渡る時
すべつて大へん
でいた。壕の
山にごさを敷
いて腰を下し
て、うとうと
としてるうちに

解除になつた
ので、又二階へ上つて

ごろ寝しました。どの
位ねたかしりませんが、

又、空襲警報が發令されました。雨が降つておるし
首はすべるし大へんでした。橋がものすくす
べります。最後の所です。とすべつて壕の
中へすべりこんでしまひました。佐竹さんと高



瀬さん、福場さんと三雲さんは、川の中へすぐ
 りこんでおしまひになりました。ごふじようへ
 行きた人は、バケツの中になりました。そのバケツ
 をひつくりかへしたり大さわぎしま

した。由良さんは空襲もし
 らないで「グーグー」ねて
 ぬらつしやつて後から、
 矢生が、由良さんがい

ないといふのでさかい
 にうつしやつたらちや
 んとねてたといふの

で大笑ひしました。
 六時頃空襲も解

除されたので、又
 寝ました。ふとんの
 有難さがしみじみ

と感じました。下の
 ラチオがラチオ体操な
 どしてるので何だろおかし

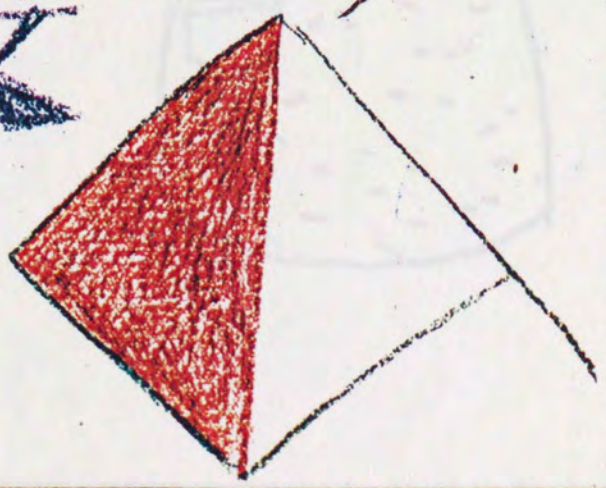
く八時頃
 てねむれませんでした。
 全員起床でとび起きました。
 生がわさわさ今日、夜明け、石田先生



て下さつたのです。學子園へ来たからまだこち
 らの宿舍の人たちはねておりました。朝食は
 十時頃すまし、晝食は二時頃食べました。
 鬼が死んでしまつたので、石田先生が皮をおはぎ
 になりました。鬼の皮はろうかに打ちつけま
 した。何だか氣味が悪いでした。
 地理の時間にはお風呂へ入りました。とても
 氣持になりました。

空

カーン
 カーン
 カーン



龍衣

ウー
 ウー
 ウー

十二月一日

今日から十二月です。あと一月でお正月。こ
いざ疎開したやうな感じがしますがもう三月半
一日は長く思へますが、ふりかへつてみると
今までがほんの一寸に短かく思へます。
今日は朝から今にも雨が降り出しさうで
いた。算数の時間に「算」と「算」といふ所の
⑦番と⑧番をやりました。三雲さんと一しよに
錐の側面積を出すのを幾度も
も考へ考へ考へあぐんだあげくやつと
やつとできました。頭をひねつて
やつと〜やつと〜あつて
成功した時はとてもとても
嬉しかった。くくくく
きていたかふらないやう
にしませう。
あ〜うつとう〜お
天気だ。いやだなあ早
くやまなやかなあ。



十二月二日

お裁縫は裁ち上つたので、袖下を縫ひまし
早く食事に用ひぬあけて、お洗濯
午後は石炭がら運びをしました。赤は菅
村先生といふ所に
荷車をひいて
きまして、
で〜んが〜んが〜んが
りがんが〜んが〜んが
んは〜りぬき
ました。雨が降ると水
のたまる所に
敷きましては
困らなくて済
みます。
父省
今日もよく暮せたとおもひます。努力して、こ
ろ子になりませう。



十二月三日

四年前の今日今日は、私達も忘水ではなら
ない日です。おそれおほくも、皇后陛下が私
たちの学校へ行啓あらばされ私たちの勉強ふ
りをいらいんあそびさるものであります。そ
して紅白の御菓子を賜ったのです。こんな元
祭な学校は日本にいくつもないでせう。
幸せな幸せな、学校……私達は女
高師といふ名前を、背負つてゐるのです。
その名前をけが
さない様に……
なほなほ一そ
名前を與へ
たいと思ひ
ます。
反省
今日も
よく暮せる
と思ひます。



十二月四日

朝會の時、青梅街道の方まで、かけ足をして行き
ました。富山かといふのも奇麗に見えま
した。青梅街道から二寸前の所から、寮養
所の前までかけつゝ、さしました。学校中
で、決勝点へといひこ
んで、八十何番で
した。今度やる
時は、もつと
早く走りま
せう。五十番
以内に入ら
ないといは
れ、一時間
をけ、あ
とは全部
明日の
おやつは、松林でいただきま
した。宿舎へ
おやつが、夜しやうをつけて、
めう一度
おきして
みました。



九水戸黄門 十二月五日 一部六年全体

水戸黄門 由良翠子
 亭主 岡安信子
 娘 三雲泰子
 細川越中守 佐竹雅子
 大名 高瀬鞠子
 石屋 石原三峯子
 石屋 井元弘子
 やつこ 今村小百合
 やつこ 西川幸江
 やつこ 古川桃子
 説明者 西村美奈子
 家来 青木恭子
 賀屋美智子
 高重子
 白井三和子
 堀泰子
 堀泰子



午後一時から療養所の講堂をおかりして、第二学期の学生藝會を開きました。後の方には療養所の患者さんが観覧にいらつしやいました。無休台は、窪町の學校の講堂の四分の一位です。私達の水戸黄門は九番めでした。對話がとても多く、歌は二つ、発表も二つだけでした。



私のやつこ

喜びになりました。最後に愛國行進
曲を歌って終りとなりました。兵隊さん
は大へん喜んで下さったさうです。私
はいやつたしりですがよくできたわ

書き忘れたので今書きますが、お昼御
飯の時、おいしいおにぎり、さつま芋のあげた
のが出ました。あみ物も本り読んではい
けないので、トランプや、ゲームをしたり
しました。七

並べはは抜
き、久し
りにやり
ました。動
物合ハセも
やりました。
反省

この頃は、自
分でひし
い子にな
れたと思ひま



十二月六日
三時間めは、自習だった。あて地理の南試験勉強
をしようとした。三時間めの國語は二部と一しよにし
私達は二部五年と場所を入水かわつてやり

先生方は洗面台の方
いりたはして
いらつしやい
ました。ど
こか知らな
い人かいり
いて三四年
生にメンタル
テストのやう
なもののをし
ていらつしや
いました。
書食中、
が敬言報か
たので、いそいでそれでもよくかんててました。

東野火
立所見
反見為者
月面渡



十二月八日

今日は大東亞戦争第三週年めの大詔奉
載日です。又昨夜空襲があつたので。朝寝
坊しました。毎賀式が過つたあと石炭が
ら運びをしました。中支の兵隊さんへ慰
問文を書きました。晝食中。報告が
發令されたので御飯がすんでからは、
の廻りに待きして。おま
した。寒いので。家の
中へ入つて。編物を
して。おました。

おやつに干菓
子が四つ出ま

した。甘くて
てもおいしい

何時頃だか知

りませんが解
になつたので。日記を

書いた。慰問文のつ
つきをしたらしました。羽根
つきもしました。



十二月九日

又夜中警戒が發令されたので急いで身仕度を
整へて塙の中に待避しておりましたが空襲に
解除されました。朝會の時も發令されまし
らずにすみしました。今日には喜門先生がおと
すんで一おわりした頃又警戒が發令されたの
に着かへて又一寸ねる
とすぐ解除されたの
で、又寝巻に着かへ
てゆつくりと寝ま
した。それから朝
で一度も出な
かつたので久しぶ
りにぐつすり
寝られます。



十二月十日

今日からは、外食を着て学園へ行きまー

今日は四年生の面會日です。一學級だけなのでも面會人が少ないです。お書翰は、いかのおわづがでて、お食後にりんごがでてました。

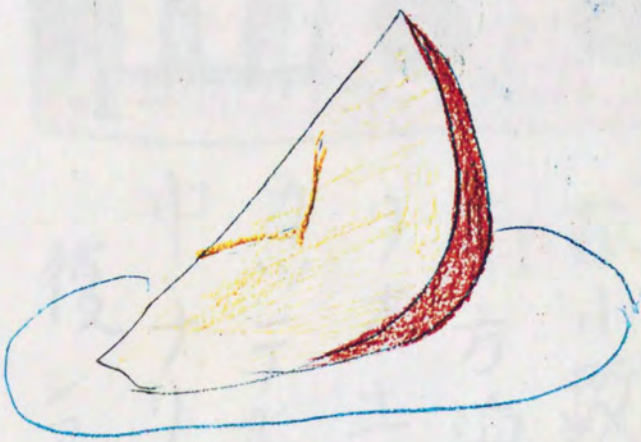
おいもが
出ました。

今日はいい
お天気です。

一日でいた
空龍にも

お家へお手
紙を書きま

お母様お元氣ですか、二十四日の面會日には……



十二月十一日

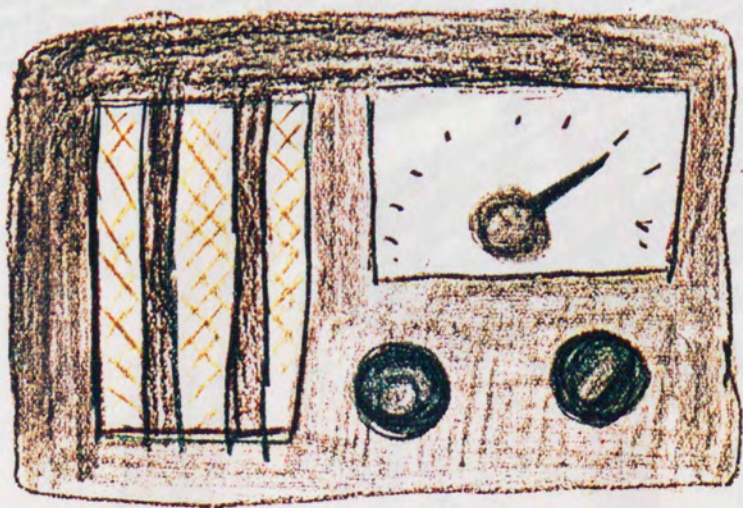
昨夜寝て一寸たつた時、敬言戒警報が発令さ
れたので、お起きて着がへて、すぐ寢ました。
敵小隊は、来龍の爲空龍になつたので、家
へ待たして、家の中では、しりとりをして遊
びました。

リンゴ

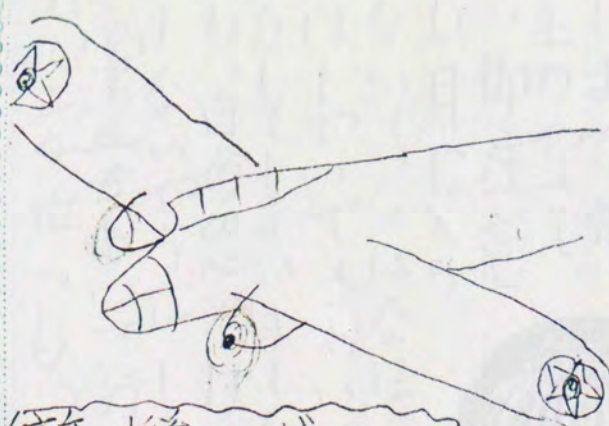


警報が発令
といふ声で又目
がさめました
上着を着て

寝てると空襲にひりましかつた。機だけだつたので寝てました。いく時か敵機も解除になつたので又上着をぬいで寝ました。二時間めは自習でした。午後は十三号地の畠を堀りかへしました。



東部軍情報
敵小數機は
南方海上に
り本土へ向
カツテ北進
中ナリ
復シヨ



敵機イザ来イ

十二月十二日
夜中、警戒警報が発令されました。皆とび起きて洋服に着かへました。
東部軍情報 敵ラシキ小數機ハ我ガ本土へ向カツテ北進中ナリ
情報はおかうでした。そして次には敵と分り、敵小數機ハボロ半島ニ向カツテ進行中ナリ又新タナル敵ハ伊豆半島ニ向カツテ北上中ナリもう空襲になるものと思つて用意していると東部軍情報・ボロ半島方面ノ敵ハ東南海上ニ退去セリ。又伊豆半島方面ノ敵ハ中部地方へ向カツテ進行中ナリ。いばらくたつて警戒警報も解除になりました。今日は警報が二度も發令されましたが、空襲は一度も出ませんでした。午前中は授業でした。二時間めの国語は喜門先生が療養所へいらつしやつたので始半分は自習でした。

午後からは林の中へまきを拾いに
行きました。高瀬さん、林の中を左へ左へと進んで行くと大きな大

きな松の木が根つき
かありました。と行つたら水道の
所へはまりました。

西武
電車も見えま
した。



十二月十三日

朝起きて見たら外一面が真っ白でした。夕の
ら何だか屋根にホクツ・ホクツと音が
してゐる。雪だと思つてゐたら私の大好きな大
好きは雪でした。雪は白く、銀色に輝いて
る。木には、真白な雪の花が咲
いてゐました。初雪です。二
何だかとてもとても思
嬉しくなつて思
はぶ床の中で
はーやって
しまひ先
生御注意
も耳に入ら
ないで、なほ
はしゃいでさわいで、皆のじやま
をしてしまひました。これからい
わゆる、自分の心だけを、はしゃいだりさわたり
しないやうにします。



雪の上を歩いて行くのは大へん面白かったです。
五、六人位つめてゐました。ある所は雨方

竹が
からおひわぶさつてゐて、とんねるくくりを
しました。
午後には体重測定に行くはずでしたが、敬
戒言報が發令されたのでよししました。
お天氣になつてしまつたので、雪もだんだ
んとけてしまひました。

雪や、こんこ

あられやこんこ

降つても

まだ降り止まぬ

大は喜び庭かけまわろ

猫はこなつでれくなる

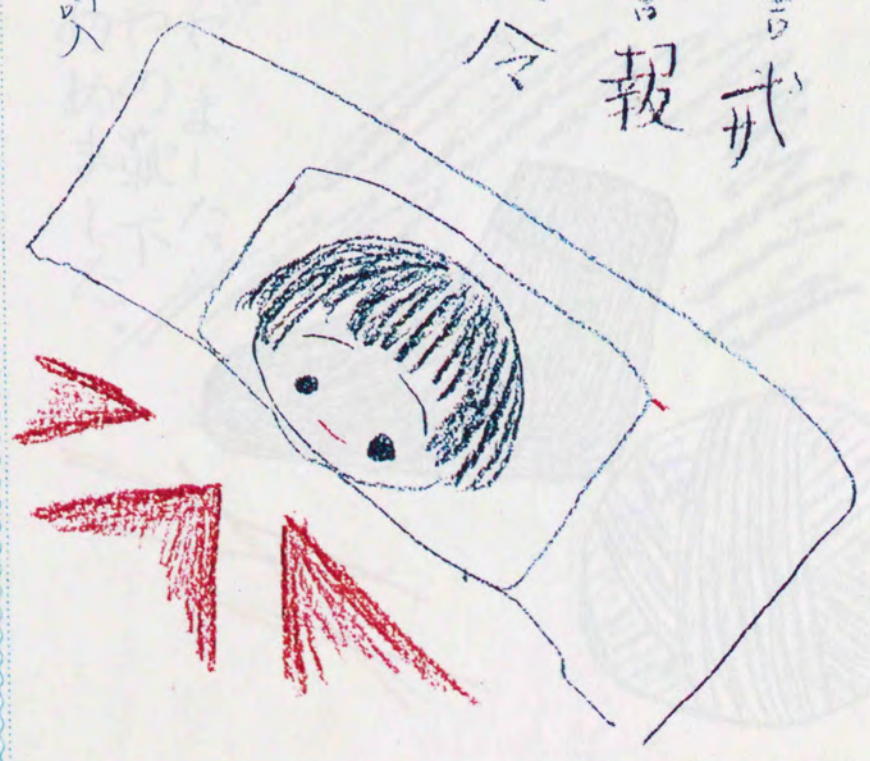
十二月十四日
夜中敬戒言報が發令されましたが、着がへ
もしないでグリークに寝ておました。敬
戒言報が出た時は目ざめあましたが、すぐ寝てしまひま
した。朝はお魚が出ました。

午後からは体
重測定がに
療養所へ
行きました。
敬戒言報

敬戒言報

發令

又少しふ
えました。
こつちへ來
てから二
キロ位ふ
えまし
た。うれ
しいなあ
身長も
計つて見
るとい
な
今日は四十七士の計入
の日です



十二月十五日

今日は、高さんもしよです。高さんは、女学校へ約一ヶ月とまうてりつしやつたのです。

午後、學園の横に、薪を拾ひに行きま

しな。一かがえ位拾つてから、歸つて來るなり、

おやつて、

いなる。

久し

ふり

に

お

茅が

出ま

しな



この頃は朝
夕ともさむく
なリました。
ナ新拾ひの時
も外会を
着て行きま

十一月十六日

朝會前、アイウエオの後の入は、お風呂の水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、

水汲みをしてしました。堀さんとしよに、



せんよ。とおつしや、まいな
が、一方だけあめました。

十二月十七日

今日は朝からとても寒いでした。ちち父
下しの風がびゅうびゅうふいて来ました。

朝の文子ちゃんのお
家内さくら、黒い免
を見たり、七匹生まれ
の子か七匹生まれ
てあました。が七匹
とも死んであまし
に。そして小舎の中
に。ころがつてあま
した。免の子は大
へん小さくて、氣
味が可愛く、ないて
す。可愛想に。無
銀色の方の免は、無
事でした。わらうと
の。中。何だかうよう
よと動いてゐるのが
見えてました。形は
はつきりしません。



今日は五年生の面會日です。明日は地理
と國史と二つ一しよに試験があるので、猛

勉強をしました。
昨日やつた國語の
考查をかねして

三雲さんが
一番よく出
きて九十二
点です。

私は八十
点です。油
ダナク

悲痛
悲痛

ちやんと知つ
てゐるくせし
て、ふつと忘
れてしまひ
非痛なんて
書いてしまひ
ました。これ
からは、油だ
んなく、かん
ばりませ



十二月十八日

お晝御飯が終つてすぐ、警言戒厳の授け發令され、急いでごふしやうへ行つて歸つて來たら、皆服裝を整へて椅子を運び始めて居たので、お晝御飯をひつかけて運びました。椅子を置いて歸つて來たら、白井さんが机を運はうとしていらしたので、頭布とオーバーをかけたに掛けて、急いでお相手になつて、二つ運びました。全部運び終つてから、帽子をかぶつて、あみしのを持ちました。自分なから、今日はよく働いたと思ひました。何だか気がすーつとしてしまひました。これからはいつもこのやうにしませう

関東地区

関東地区

敬言、戒厳の授け發令

以上

東部軍司令官

警言戒厳

以上

十二月十九日

昨夜警言戒厳が發令されましたが、發令された時は、目がさめましたが、またすぐ寢てしまひました。一時の間めは、國史の考査がありました。今日は午前中に二時間間の授業をして、午後からは、三四五時間間の授業をしました。お晝御飯の時、キントンが出ました。晝食後、國史の考査をしました。下へいりました。

西川

受けとつて見たら、一〇〇テンでした。嬉しくて嬉しくて、たまりませんでした。地理むかへして下さいました。これは九十テンでした。思つたよりは、出さてました。一〇〇テンをとるやうにしませう

ボート



十二月二十日

昨夜敬言報が発令されましたが、はつかり
と覚えずおぼろげに
時間めはお洗濯し
が待たずすぐ始まる時
解除になりました。か
壇の中で一寸あ
んたり博ちや
んの靴下か雨
方あめまし
な。お年玉と
してあげま
せう。お晝
御飯はお晝
御飯でした。
と久しぶり
とあつて
でもおしい
反省今日は
はなしてご
不浄



十二月二十一日

疎開してからもう四月もたつてしまひまし
た。かままだ一月と一寸しかたななやうな
がします。悲しく悲しくした。家は思ひ出されて
悲しく悲しくした。お友達のおか
が、お友達は先生や
お友達のおか
げで暮しに
りなれ
ました。
午後
先生
方か
會議を
さつた
私たち
は、
生活といふ
晝食後洗
顔石けんの
配給を
いただきまし
た。

始メハ
悲シカ
ツタワ



十二月二十三日
 今日行軍です。道がめづるのと困るの
 て午前中に歸つて来られようとのため
 くの八坂神社まで行きまして心物を
 祈願を祈りまして
 お晝御飯はお魚
 でし。晝食中
 警報が發令さ
 れました。空
 龍にもならつ
 解除になりま
 した。その後
 落葉拾ひをし
 りお風呂へ入つ
 りしました。今
 日からの針がで
 きました。
 今日冬至です
 正今日が一晝日か
 短かいのです。太陽
 は今頃南回歸線のとこいらへんを通つ
 てゐるかな



今日冬至

一晝日が一晝日

十二月二十三日
 今日皇太子殿下の御誕辰日です。皇太子
 殿下は今日で満十一歳におなりあそばされな
 のです。皇太后陛下から
 御歌
 と菓子
 を賜
 はり賜
 ました。
 つな
 いた
 いな
 難い
 こと
 です。
 夜明け
 警報が
 發令され
 ました。私は
 お生まれ
 なさ
 皇太子様
 お生まれ



車



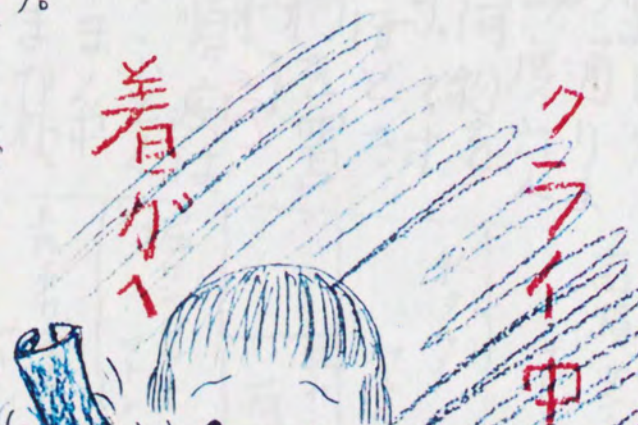
書食の時お母
 の天ぷらが出ま
 した。おいしく
 食べた。
 午後五時洛
 舎拾ひを
 して、私たち
 の机の下にひき
 込まれた。道に
 ひきまわされ
 たが、途中の川
 は、めか

ひきまよしたためか
すて書さ忘れまし
たが途中の川は水つておました

今日、待ちに待った面會日です。父と母は、早く来て下さいました。荷物、園舎の中で始末をして、その後、日向で父や母とお話をしました。試験をお見せしたり、面白かったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、いろいろお話しました。寫真も写した。父と



母は一瞬
半頃お
かへり
になつ
てしま
ひまし
た。が
又二十
九日に
あへま
すから
平氣で
す。
又、夜中、敬告報が
出ました。



着
が
イ
ク
ラ
イ
中

次の世を

北月 負ふべき身ぞ

たくましく

正しく伸びよ

里にうつりて



十二月二十五日

大正天皇祭

午前中は村野さんのお家を大掃除し

物の整理、みんな手わけをして働いて掃

除き進めました

荷物の置き方、

とんのつみちも

都合のよい様に

やりかへました

下の圖の通りま

した、今度六人

置き、よす、す

から、よす、す

ちんと荷物を置

かな、て、序

掃除の順、疾

まづ、荷物、とん

など、全部、中

に出、して、ま

つて、そ、て、き

カイダン

高瀬、サタノ

高瀬、サタノ

フトン

私タノ

フトン

高瀬、サタノ

堀、サタノ

フトン

高瀬、サタノ

フトン

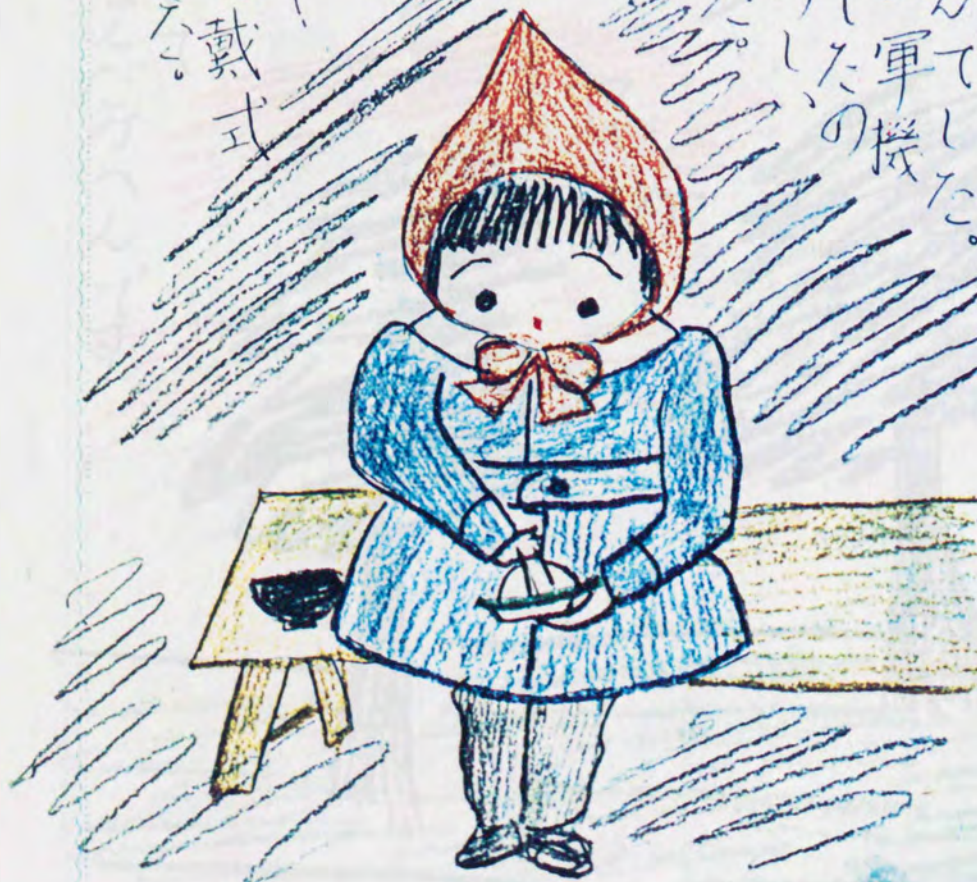
デキ

デキ

いに掃き出し場所へきちんと整理して掃き出して
 から、新場所へきちんと整理して、西村さん、高
 川さん、高瀬さん、白井さん、高さんの六人です。
 きちんとお掃除したら、大へん気持ちいい。
 午後、自由
 でした。アイ
 ウエオの後
 の人は、掃除
 除き、その後
 は、お風呂へ
 入り、今
 日は、一度
 湯かけ
 んで、とて
 も、気持ち
 いいでし



昨夜中、十二月二十六日
 おかげで、ゆつくりやすめました。
 お昼食の時は、お魚がでました。午後
 お裁縫の時間の途中から、髪洗ひをし、ま
 震に、今年最後の途中から、ごしごしと奇
 ないやつに、洗ひました。そして、風をひか
 そ、その後、算数をしたり、日記を書いたり、
 しました。今日は一日とて、いいお天
 氣でした。
 反省
 この頃は、よく暮せる所になりましたが、
 まだ一寸個人主儀の所があると思ひます。
 こなひだうち、井元さんがあんまり皮肉
 いったりするので、組中一寸さらつてしま
 ひました。が、日本の少國民として心のせま
 ひ行ひた、と感じました。友達をきりつた
 け、けんかをしたたりするやうな小こころは
 捨てて、心がけてみます。うつばな人にな



十一月二十八日
朝目がさめてみたり下で

とお餅つきと同時には村野さんのお家
でお餅つきをやっていらつしやる音がしま

はかり先生方

はかり先生方

はかり先生方

はかり先生方

はかり先生方

はかり先生方

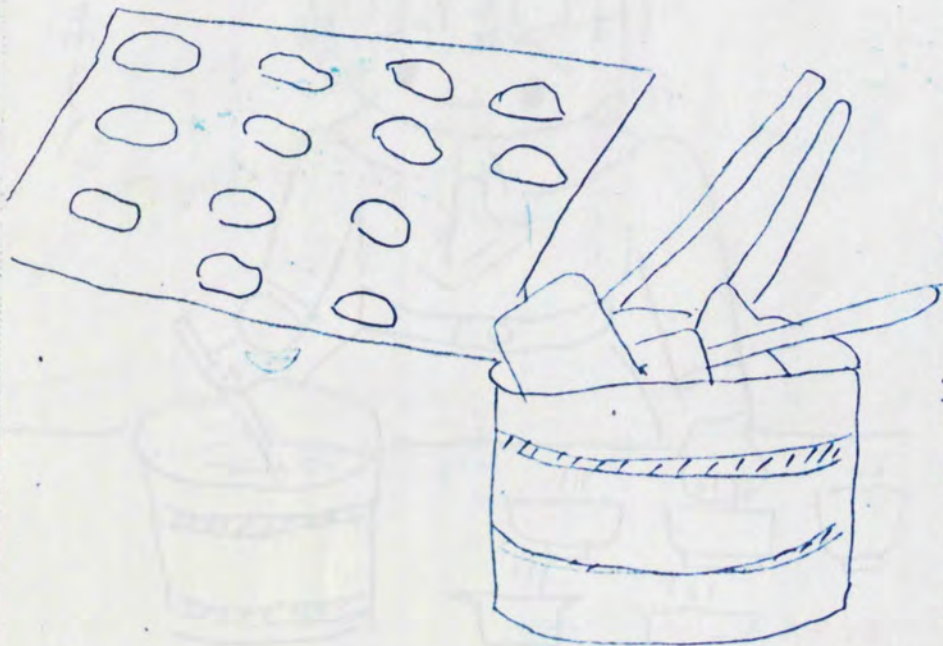
はかり先生方

はかり先生方

はかり先生方

はかり先生方

はかり先生方



松園はお餅つきをみるのは二度めです。
今日は三十四日にやるのださうです。

一時頃

今日

今日

今日

今日

今日

今日

今日

今日

今日

今日

今日

今日

今日



今日

今日

今日

今日

今日

ひと早く
らつしやく

話をおま

物りし
の荷を

しりせ
だをい

の曰り、
したく

二時頃

母は
へられまし



今日、園のお餅つきです。朝目がさめ
 いたて、先生の方のお声がし、そめ
 いて、お餅つき

の音かしま
しな。起き

全みて
部んなら
サ

用意

に つ ら
下 て 下 前

てそれ
私は

一生けんめい
お餅つき
きの音を

きうましく

三
ヒヨ
ー
シ
カ
ナ
？



四
ヒヨ
ー
シ
カ
ナ
？

三びやうしかな？・四びやうしかな？・

今朝は一人む

一行つたから

一つづつつき

たての暖

餅を

大根

とあ

しやう

油を

つけて

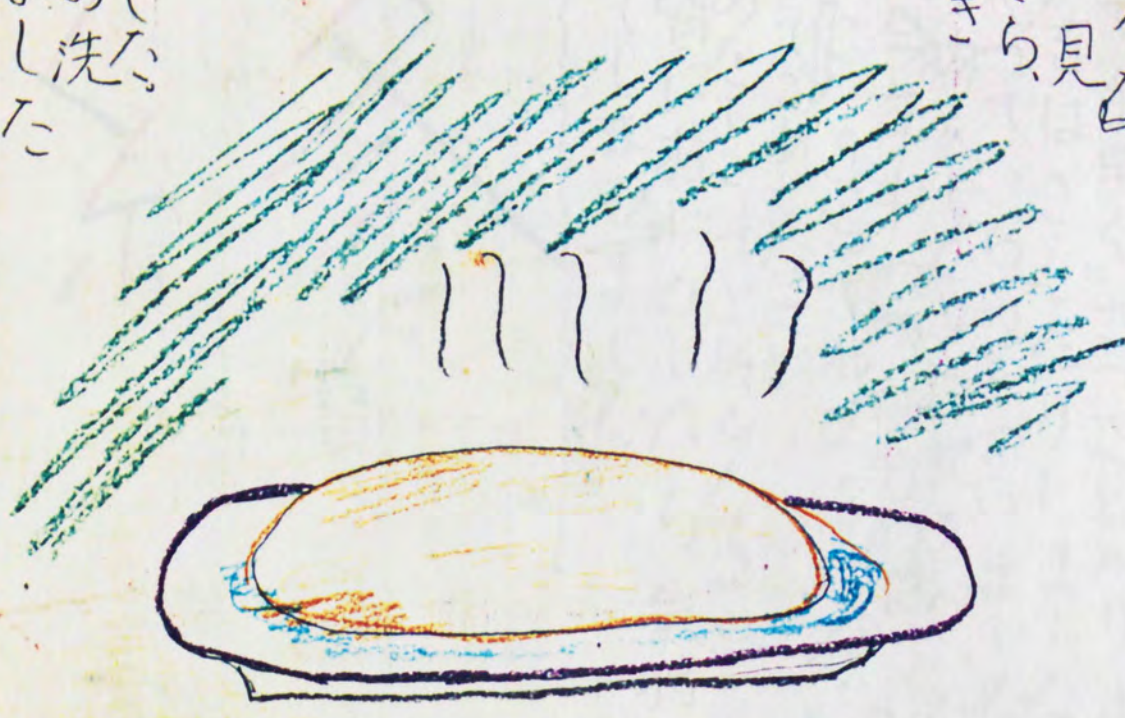
下さい

まへん

大へんお

午後はおし

濯をしました



十二月三十一日

今日は昭和十九年の一番おしまひの日で

す。朝御飯の時におミカンが出ましたわ

午前中にアイウエ

オの前の人はお

風呂をきとたき

つけの新はこ

びをしました

私たち後

の人はにん

じんとおぼ

うとみは

を洗ひまし

は

ふと大へん

きれいにまつ赤になるので

とても楽しみです





お風呂へも入りました。今日は
 中々入るの得手早くさつさと入りました。山
 午後は松をはこんだりしました。その
 先生もかへつていらつしやいました。その
 後は、あみ物をいたり、日記をかいたり
 した。又、今年中の自分の悪事、こと
 氣がつかない。を皆でわびました。
 「皮肉なうてごめんなさい」
 あらあ、いさよごめんなさい。
 いろいろ皆におわびした。り、
 ばりとしてしまひました。り、
 氣持がさつ